

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
44001	X-31-B-2-440016	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×	
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×	
生産管理論	佐々木 桐子			【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	専門	選択	2年	
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	

授業目的

経営学や経営工学の領域において展開されている「生産管理」を扱います。特に、生産の概念、歴史、さらに生産企画（計画）や生産管理の諸手法を学習します。具体的には、生産管理の史的考察をおこない、経営資源（人、もの、お金、情報）の流れを理解し、科学的なアプローチとして意思決定の諸手法を習得し、さらに生産における諸問題の解決策を提案します。

【関連するディプロマポリシー】

- ・健全な社会生活を営むための常識持ち、他者と協力して問題解決にあたることができること。
- ・情報や情報システムの利活用方法を修得し、仕事や生活に活用できること。

各回毎の授業内容

第1回

【授】1. 生産の概念

生産、生産要素、生産工程、生産財、生産性

【前・後】【必要な時間：3時間】 講義ノート、チェックノートを活用しながら、主に重要語句の確認をおこなう。

第2回

【授】2. 生産管理の史的考察①

社会の変遷、成行管理、課業管理（小テスト①）

【前・後】【必要な時間：3時間】 重要語句の確認、特に「自動化」と「自働化」の違いについて説明できるようにすること。

第3回

【授】3. 生産管理の史的考察②

同時管理、自己制御管理、システム管理（小テスト②）

【前・後】【必要な時間：3時間】 重要語句の確認、特に「稼働率」と「可動率」の違いについて説明できるようにすること。

第4回

【授】4. 大量生産方式の起源と発展①

初期のアメリカ自動車産業（小テスト③）

【前・後】【必要な時間：3時間】 重要語句の確認、特に「省力化」、「省人化」、「少人化」の違いについて説明できるようにすること。

第5回

【授】5. 大量生産方式の起源と発展②

初期の日本自動車産業、トヨタ生産方式（小テスト④）

【前・後】【必要な時間：3時間】 指定された新聞記事を読み、「自動化」に関する部分を抜き出すこと。

第6回

【授】6. 生産の形態、需要予測

分類、見込生産と受注生産、需要予測のモデル（小テスト⑤）

【前・後】【必要な時間：3時間】 1週間の米ドルの推移から、指定された日の終値を予測すること。

第7回

【授】7. 生産計画①

種類、戦略（小テスト⑥）

第9回

【授】9. 生産スケジューリング①

2工程フローショップスケジューリング（小テスト⑧）

【前・後】【必要な時間：3時間】 多工程フローショップスケジューリングを策定すること。

第10回

【授】10. 生産スケジューリング②

多工程フローショップスケジューリング（小テスト⑨）

【前・後】【必要な時間：3時間】 カラーライスパーティ問題を解くこと。

第11回

【授】11. 工程計画

評価基準、最適工程計画、フォワード方式、バックワード方式（小テスト⑩）

【前・後】【必要な時間：3時間】 ABC在庫管理の問題を解くこと。

第12回

【授】12. ABC在庫管理

ABC分析、ローレンツ曲線、パレートの法則（小テスト⑪）

【前・後】【必要な時間：3時間】 パレート図を作図すること。

第13回

【授】13. ロジスティクス

概念（物流とロジスティクス）、変遷（小テスト⑫）

【前・後】【必要な時間：3時間】 重要語句の確認、特に「物流」と「ロジスティクス」の違いについて説明できるようにすること。

第14回

【授】14. 統括・ふりかえり

【前・後】【必要な時間：3時間】 講義ノート、チェックノートを活用しながら、授業全体の流れを理解すること。

第15回

【授】15. 質問とその回答

【前・後】【必要な時間：16時間】 定期試験対策

【前・後】【必要な時間：3時間】 1週間の豪ドルの推移から、指定された日の終値を予測すること。

第8回

【授】8. 生産計画②

第16回

【授】16. 定期試験

【前・後】定期試験対策

長期生産計画（小テスト⑦、授業内レポート課題）

【前・後】【必要な時間：5時間】 長期生産計画（在庫保管費2円の場合と10円の場合）を策定すること。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							60
小テスト・授業内レポート							40
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

<小テストのフィードバックについて>

毎回の小テストは、学生ごとに「チェックシート」という小冊子にまとめられ、毎回の授業後に回答を確認をし、次の授業にて返却・解説をおこないます。全体的な傾向や優秀な回答の紹介をもおこないます。

教科書参考書

教科書：「生産管理 講義ノート」（初回の授業で配付）を使用します。

参考文献：人見勝人著 『新・生産管理工学』 コロナ社、1997.

受講に当たっての留意事項

電卓を持参してください。

学習到達目標

- ・企業における生産の管理全般を理解し、現実の問題へと応用することができる。
（小テスト：20%、定期試験：30%）
- ・管理に関わる諸問題を発見し、解決する能力を身につけることができる。
（小テスト：20%、定期試験：30%）

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習